



登校日

8月23日

久しぶりに子どもたちの元気な姿をみることができました。やはり、子どもたちがいてこそ、学校は活気に満ちあふれるものだと思います。小雨の中、仕上げた宿題や応募作品を持って登校しました。荷物を置くと1学期間続けてきたボランティア清掃を当たり前のようにしている姿に感心しました。

親子奉仕活動

8月25日

多くの保護者や児童の皆さんに早朝7時より、奉仕活動に参加いただきました。運動場、農園、排水溝、斜面等の除草ができました。また今年はプールの南側や桑山分館周辺にも取り組んでいただき、随分と綺麗になりました。大変ありがとうございました。

2学期始業式のお話

話の内容を一部抜粋したものです。左下枠は、9月2日心構えをまとめたものです。(話し方、聞き方は昨年のものです。)

長く楽しかった夏休みがおわりました。今年もとても暑い日が続きましたね。また8月後半には九州地方などで豪雨災害があり、現在も被災生活を強いられている方々がおり、大変気の毒なことです。二学期始業の今日、こうして元気に全校生が体育館に集まることができました。夏休み中、大きな事故や病気もなく、よかったです。

さて、2学期は、たくさんの行事が待っていますね。6年生は「修学旅行」、5年生は「宿泊学習」があります。全校生に関係していることでは「文化祭」「遠足」「人権えがお集会」などがあります。とても楽しみです。

楽しみがいっぱいある2学期に、みなさんにぜひ、がんばって欲しいことを一つお話します。『しっかり考えて「対話」しよう』ということです。「対話」することによって、友だちの考えを聞いたり、自分の考えを話したりして、分かるようになったりできるようになったりと、困っていたことを解決することができます。

話し方

自分の考えを友だち「分かるように」話す。
そのためには次の3つが大切。

- ① 聞える声の大きさをしっかりと口を開ける
- ② 聞き取りやすい発音
- ③ 理解しやすいまとまった内容、短い内容

④ ②③を上手に使って話す。
⑤ 同じ考えを続けて話す。話す順番

聞き方

友だちの話をしっかりと聞く。
そのためには、目、口、顔の3つで聞くことが大切。

- ① 目話す相手を見る
- ② 「口」分らないことは質問する
- ③ 顔と同じところを見つめる

丁度、一年前には、**話し方**と、**聞き方**について話しました。今日は、**心構え**について話します。

~~~~~ 一部省略 ~~~~~

一生懸命に考えても分からないときもあります。分からないときは、「分かりません。」と答えればよいのです。この答えることがとても大切なことなのです。分からないからといって黙ってしまったり、泣いてしまったりではいけません。あなたが困って「分かりません。」と言ったとしても、どの学級の友だちも担任の先生も自分ごととして受け止め、優しく教えたり手助けしたりしてくれます。それが桑山小のよいところです。友だちと対話をし、いろいろな考えをまとめることで**考える力**がついてきます。また、友だちに分かるように話すことや友だちの話をしっかりと聞くことは、その友だちを認め大切にしようとする心「**相手意識**」を高めることにもつながります。

**心構え**

自分ごととして考える。  
自分の言葉で話す。  
そのためには次の3つが大切。

- ① 具体的なアイデアを考える
- ② 「何を、どうすればよいのか。」
- ③ 分らないときは「分かりません。」と答える

黙ったり、泣いたりしない。  
友だちも担任の先生も優しく教えたり手助けしたりしてくれます。  
④ 同じです。」と終わらせない。

**考える力**

**相手意識**